

## 編集後記

まずは、本共同研究の活動に協力してくださった研究分担者、そして、国内と国外の研究協力者の方々に御礼申し上げたい。僅か3年という短期間で科研関連の単行本を2冊刊行し、国際シンポジウムを2回開催できたことは研究メンバーの皆さんの努力の賜物であるからである。次はこの共同研究を直接間接的に支援し、また、理解してくださった多くの方々に感謝申し上げなければならない。

本共同研究を進めるにあたり、特に、意識したことは研究成果をいかに社会に還元するか、という点であった。シンポジウム開催や単行本の出版、共同研究ホームページの開設などを通して、多くの研究者、学生、市民の方々と意見交換ができたことは、今後の研究を進めるにおいて大きな財産になると思う。

しかし、それにしても、多くの課題が積み残された。とくに、研究テーマに「産業」というキーワードを入れながらも実際はメディア産業に関連する分析や検討にはまだいたっていない。もちろん、部分的には資料調査が進み、一部、公にできる成果があるのも事実だが、いまは今後の課題にするしかない。今後とも多くの方の協力をお願いしたい。(孫安石)

平成17年度～平成19年度 日本学術振興会科学研究費補助金  
基盤研究(B) (一般)

研究成果報告書(課題番号:17310148)  
「20世紀東アジアにおけるメディア産業と地域社会の変容に関する国際共同研究」

発行日 2008年3月31日  
発行者 孫安石(研究代表者)  
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
神奈川大学 外国語学部  
電話 045-481-5661